

ブーニーに帰せられる呪術思想と妊娠・出産について

長尾 玲

1 はじめに

呪術は一神教であるイスラームの重要な一側面であると共に、イスラーム圏では呪術が記されたり刻まれたりした文化財⁽¹⁾が見つかることもあるが、わが国ではこの方面に関しての紹介や研究は少ない。このうち現在のアルジェリア出身⁽²⁾とされエジプトで亡くなったスーフィーであるアブル・アッバース・アフマド・ブン・アリー・アル・ブーニー（一般には1225年没）⁽³⁾に帰せられる呪術書『諸霊知⁽⁴⁾の太陽』(*Shams al-ma'ārif*)は、アラブ・イスラームのオカルトの書としていくつかのウェブサイトでも紹介されるほか、欧米ではいくつかの研究論文も書かれている有名な呪術書である。この呪術書はかなりのヘレニズム呪術の要素を含むがとりわけオリエント—北アフリカ地域の呪術の観念を含むとされている〔Ullmann 1972 p.390〕。また大・中・小の3つのバージョンがあるとされるが最近の論考によるとこれらは元来1つの書物であるという〔Gardiner 2012 p.123〕。

これらの中の、『大いなる諸霊知の太陽』*Shams al-ma'ārif al-kubrā*は、写本の研究を元にしたガーディナーの論考では、中世のブーニーによる著作とは劇的に異なり作品の大部分はブーニー以外の著者による改変であり、17世紀初めに成立した物とされている⁽⁵⁾。印刷された刊本には、カイロ・バイルートを出版地とする年代不明の物が多く、学術的に信頼できる底本が完成していない〔Pormann&Savage-Smith 2007 p.148〕⁽⁶⁾こともありその全体の欧米語訳はまだないが、4巻を2冊に纏めた全体のトルコ語訳が存在する〔Alpay (tr.) 1997〕。このほか、印刷された物にはウルドゥー語版やアムハラ語版も存在するという〔Hamès2011 p.141〕。

印刷された版には誤りも多く、写本や石版画の版と比べて図などの誤りが多いことが知られるが⁽⁷⁾、実在のブーニー個人の思想というよりも近世から現代に至るまでのイスラーム呪術の概要を手近に知るには絶好の書である。そこでここでは、この呪術書の出版年不明のバイルート版『大いなる諸霊知の太陽と諸利益の諸機知』*Shams al-ma'ārif al-kubrā wa laṭā'if al-'awārif, Bayrūt [n.d.]*（以下本稿中では*kubrā*と略記）を元に、呪術思想を表す若干の記述と妊娠出産に関わる呪術を抜き出して紹介し、99あるアッラーの別名の内、khāliq（創造者）の名称の記述を中心に、*kubrā*に見られる妊娠・出産に関する考

えを見ていく。次にアッラーの別名についての記述の中の、胎児に霊が吹き込まれる期間に関わる宗教的勤行の記述も見えていき、妊娠・出産という観点からブーニーに帰せられるイスラーム呪術の内実の一端を見ていくことにする。

2 『大いなる諸霊知の太陽と諸利益の諸機知』刊本の呪術思想

具体的な呪術の例に入る前に、まずその呪術に関する考えを見ていく必要があるが、その特徴は何といっても数と文字の神秘である⁽⁸⁾。これについては次のように記述される⁽⁹⁾。

次のことを知れ。アッラーの諸秘密と諸警句と諸々の高位と諸々の祖先に関することとマラクートの諸世界の彼（アッラー）の知識は2つの部分に従う。諸数と諸文字である。諸文字の秘密は諸数の中にある。そして、諸数の現れは諸文字の中にあり、高位の諸数は諸々の霊に関することを代表し、諸文字は物理的諸世界とマラクートの諸世界の循環を⁽¹⁰⁾代表する。諸数は諸言説の秘密であり、諸文字は諸作用の秘密である。そして、高御座（'arsh）の世界は諸数であり、玉座（kursi）の世界は諸文字である。諸文字の諸数への関係は、玉座の高御座への関係のようである。そこで、諸数の秘密と共に能力を汝は理解するように。[*kubrā* pp.83-84]

この記述からわかるように、*kubrā*では数を（アッラーのための）高御座、文字を高御座の中の玉座と同様にとらえている⁽¹¹⁾。それゆえ、数の神秘の方が文字の神秘より外側にある高次の世界に属する。ただ、文字は物理的諸世界と高次のマラクートの諸世界⁽¹²⁾を循環するのでかなり行動範囲が広い。次いで次のように記述される⁽¹³⁾。

諸数の秘密と共に神の理性の秘密を理解せよ。そして、諸文字の秘密と共に霊（rūh）⁽¹⁴⁾に由来する、霊の秘密を理解せよ。理性のステップの最後は、高位に由来する靈魂（nafs）のステップの最初であり、それは最初の洪水⁽¹⁵⁾でもある。ちょうど諸文字は物事の文字から得られ、それはそれ（物事）の端であるのと同じように。そして数はその最初でありその中央であり、中央の最初とその端各々を表す。そこで、諸文字の秘密と共に、より高い玉座と輝かしい広い玉座の秘密を理解せよ。つまり、高位に由来し、祖先に関する世界の中での所有者達はより高い玉座の中でのそれらの所有者達の多様性と共に異なる。そして、多様性はそれらを選び、それらの諸段階（aṭwār）は輝かしい玉座の中にある。次いで、

広い玉座は、マラクートの諸世界の諸真実の送られることの最初である。そして諸下界中の階段の最後の拡張は、諸上界中の階段の最初である。

そして次のことを知れ。輝かしい高御座は最初の光の洪水であり、広い玉座は2番目の光の洪水である。そしてより高い玉座は3番目の光の洪水である。そこで、最初の（光の）洪水はすなわち3番目であり、3番目（の洪水）は諸文字の最初であり、数のステップの最後である。そしてそれは彼（アッラー）——いと高き——の「私は粘土から人類を創造する者である。」⁽¹⁶⁾ という言説を伴った忠告がその中にある、人類の真実を伴った彼による（各段階の）橋（mi'bar）・交差点（ma'bar）⁽¹⁷⁾ の秘密である。〔*kubrā* p.84〕

この記述では、高御座より下位に位置する玉座が①広い玉座②より高い玉座の2つに分けられている。光の洪水の順序からすると、①の方が②より上位に位置すると考えられる。2種類の玉座と世界との対応関係については次のように記述される⁽¹⁸⁾。

人類に関わる確かな物の真実の世界及び構成の秘密の中で目に見える物についてはそれらの体の所有者達のためには異なる。それらはより高い玉座の諸真実を代表し、それはムルクの世界の中にある。そのために人間に関する世界の真実は明らかとなり、広い玉座の代表する秘密はジャバルートの世界である。そしてそれと共に高位に由来する霊の諸真実の中で輝かしい玉座の諸秘密を目撃する。〔*kubrā* p.84〕

この記述のように、物理世界に対応するムルクの世界により高い玉座の真実があり、より高次の広い玉座の秘密はジャバルートの世界にある。ここではマラクートの世界は現れないが、それはおそらく高御座に関わる物であり、それは次に示すように⁽¹⁹⁾ 光からなるために目撃できないからであろう。

高位と低位の世界の真実が高御座の所有者の中に帰属するために、その中で彼らの確固さの秘密は2つの光を伴い書かれた2つの線を伴う。すなわち、白い光と緑の光である。両者は「アッラーのみが神であり、ムハンマドは神の使徒である。」である。その⁽²⁰⁾ 2つの光に関わる線は高御座の最下部にある。そこで光に関係するこの警句の真実を理解せよ。高御座を運ぶ8つ（の天使）⁽²¹⁾ が存在するために、彼らからマラクートの諸世界の諸々の霊とジャバルートの諸世界を表す諸々の光を生じる。高位の世界その全ては諸々の光又

は諸々の光の（中の）光であり、それは高御座である。そして光を灯すのはアッラーである。〔*kubrā* p.81〕

続いて次のように記述する⁽²²⁾。

軌道ごとに3つの文字があり、光々々から流れる文字が現れる。それからマラクートとジャバルート各々に地平線（が現れる）。そして、マラクートの光の軌道は諸々の理性を広げ、ジャバルートの光は諸々の霊を広げ、ムルクの光は心を広げる。そこで、（光の）射出に3をかけることにより8つの天使のために24が完成する。そのため、「アッラー⁽²³⁾のみが神であり、ムハンマドは神の使徒である。」⁽²⁴⁾と言った者は、高御座に到達する。つまりそれらの所有者と共に良い語が上昇する。なぜなら、それらの表すのはムルクにおける帰属（*nisba*）とジャバルートにおける登上（*'urūj*）とマラクートにおける上昇（*ṣu'ūd*）だからである。（アッラー）—いと高き—は言った。

「良い語が上昇し健全な行為がそれを上げる。そしてそのため述べられた数を伴いその眠りと共にそれを言った者に、そのことを通じてそれらの諸力の見積もりを供給された高御座の下で、その霊は夜通し留まる。そのため、新月を見ること共にそれを言った者は残りの諸病から安全となり、都市に入ることと共にそれを言った者は都市の内戦から安全となる。諸々の高度なことに関する努力を意図してそれを言った者のためには、求めた見えないこと（*ghayb*）が暴露される。」〔*kubrā* p.81〕

これは信仰告白の2つのフレーズに関する物だが、これらの語は数及び文字の神秘的な力と共に高御座にまで到達し、病気や戦いから免れ、求める者には目に見えない秘密が暴露される。このほかの様々な呪術や魔法陣や占いも、こうした、数と文字の組み合わせにより効力の生じる神秘的な力を背景とするものである。文字がいかに重要であるかということは、次のような記述からもわかる⁽²⁵⁾。

アッラー—いと高き—が創造した物の最初は最初のペンであり、それからその後最初の書板⁽²⁶⁾（を創造した）。そしてペンに言った。

「書け。」

するとそれ（ペン）は言った。

「私は何を書くのか。」

彼（アッラー）は言った。

「復活の日までに存在することを書け。」

するとそのことができた。それから彼は高御座を創造し、それからその後玉座を創造した。それは水の上にある。それから諸天と諸地と両者の中の物と両者の間の物を創造し、それから諸々の被造物の所有者達を創造し、それらと共に知識を取り囲んだ。そしてそれらの諸部分の差異とそれらの諸世界の分割に従った数でそれらを数えた。それから意志とその知恵の管理がある限り、まっすぐに割れ目を広げた。それからそれらを1つにすること（*tawhīd*）のうちで、それらのために定めたものに従って、諸々の理性（*'uqūl*）を出現させた。それからその（理性の）諸決定の成長の中で諸々の霊を創造し、それから諸々の胸（*ṣudūr*）を創造し、それらを諸々の霊の位置する場所に置いた。そして生の定着に（置いた）。それから、最も高いマラクートを創造し、それから、諸質の諸々の光から諸文字を創り出した。そしてそれを最初の「保護された書板」⁽²⁷⁾の上に置いた。陳述のためにその中に書かれることは構造的なペンによらず、おおよそ理解（でき）ない。それらはただ彼（アッラー）—いと高き—の言説によりそれに追加した永遠の意志であるのみである。…〈中略〉…それから（より低次の）マラクートの世界を創造した。〔*kubrā* pp.455–456〕

このように、*kubrā*の記述するアッラーの創造の順序では、最初のペンと書板は高御座に先行する。もっとも、光から創造された文字は最も高いマラクート世界の後にできている。これらの文字は最初の保護された書板の上に配置されることで、最も高いマラクート世界よりも上位に位置し、それゆえペンが書板に書いた文字は、高御座の世界も物理的世界も含めて循環すると考えられるのではなからうか。

以上のような、文字と数に関する記述の理解を前提に、具体的な呪術の例として次に妊娠・出産に関わる呪術の例を見ていく。

3 妊娠・出産に関わる呪術の例

*kubrā*では、特に個別の呪術処置をまとめて記述するということはしていない。アッラーの99の別名に関する記述など、別々の記述の中に様々な呪術が出てくる。ここでは、妊娠・出産に関わる物をいくつか抜き出してその内容を見ていくことにする。

(1) バスマラにまつわる呪術⁽²⁸⁾

ب س م ال ل ال ر ح م ن ال ر ح م (バスマラ「慈悲遍き慈悲深きアッラーの名にかけて」の独立形)⁽²⁹⁾ …<中略>…ガラスカップの中に40回それらを書き、豊富な・(メッカの) ザムザムの泉の水と共に又は甘い井戸の水 (と共に) それらを拭い、そしてその水を飲んだとき、どんな病気であってもアッラー—いと高き—はそれを回復させる。そして出産が困難である女が飲んだとき、すぐ生む。…<中略>…そして彼女の子供が生き長らえない女と、妊娠しない不妊者に月経不浄から彼女が清浄となる後に3日、110回書き、彼女がシートを引き受け、夫が彼女と性交渉したとき、彼女はアッラー—いと高き—の許可と共に妊娠するであろう。60日後、シートを放置してはならない。するとアッラー—いと高き—の許可により彼女は健全な子を妊娠し、彼女の胎児のために苦痛を見ず、困難も見ないであろう。そして61回書き、彼女の子供達が生き長らえない者がそれを引き受けたとき(子供達は) 生き長らえる。そしてそのことは検証されており、(アッラーの別名の1つ) 強力な (qadir) 各々に従い、アッラーかけて真正である。[*kubrā* pp.37-38]

これは、クルアーンの開扉の章の冒頭の語句を連結しない独立形のアラビア文字で書いた魔除けである。

(2) 天体の動きに関わる呪術⁽³⁰⁾

そして彼(アッラー)—創造するいと高き (ta'ālā al-khāliq)—の名称について言えば、火に関係する三角形の(星座の)⁽³¹⁾ 1つの上昇と共に、銀の指輪の上にそれを刻みそれを身につけた者が、彼の妻と性交渉すると、アッラー—いと高き—の許可と共に彼女は妊娠する。[*kubrā* p.59]

これは、天体の動きとアッラーの別名の1つの効力を結合させた呪術である。

(3) ش (シーン) の文字を1000回書く呪術⁽³²⁾

その中にシーンの文字を1000回、その行為がふさわしい日ごとに(行為)時の最初に書くべし。…<中略>…物理的世界におけるシーンの諸秘密は、数え切れないほどに多い。さもなければ、彼と共に彼の諸器官内に苦痛のある物はそれを運ばないであろう。なぜならその苦痛は分娩者を除いても特に強力だからである。そしてそれは彼女にとっての難産

をよりた易くする。〔*kubrā* p.104〕

シーンの文字を1000回書くことの意味については、上述部分に先立ち次のように記述される⁽³³⁾。

シーンは、高御座 ('arsh عرش) の諸文字の最後の中にある。それらは様々な諸世界を1つにすることに関わる。次いで、運命により予定された階段があったとき、そして物事各々に高御座を整えたとき、シーンは諸文字の高御座である。それはそれらの関係及びそれらの諸階段が高いことを代表する。諸文字の中で1000の諸文字がそれらの高御座を完成させるものを見出さない。なぜならそれ(1000)は諸文字の木の根幹であり、それらまでのシーンは諸文字の終わりとそれらの登上であるからである。ただそれら(シーンと1000)を別としてはそれらの内部中に枝があるのみである。そのため、1000はただそれら(諸文字)の中にある限りそれら以前に存在するだけである。

そしてシーンが1000の形態のようであったとき、それらは協働して様々に適合する。そして(連結せずに)3文字の中に広げられる1000はこのようである。ف ا ل そして(連結せずに)3文字の中に広げられるシーンはこのような文字である。ن ش ي そしてその連結(ش ين)はその連結のようである。3文字から構成されたシーン以外(の文字)があるとしてもシーンの表す高御座はない。なぜならそれは類似する物と(タウヒード(唯一神崇拜)の)確立のための目標へと至らないからである。以上のように彼の言説に先立ちタウヒードの確立への印を「アッラーは証言し」、2つの家と2つの世界における被造物の不在(を証言し)⁽³⁴⁾、玉座(kursi)のスィーン(س) (を証言した)。そして玉座は彼(アッラー)を、つまり高御座を運ぶということは不適切でない。なぜなら汝は、物体は太陽の高御座のための玉座であると考えからである⁽³⁵⁾。そして真実においては、まっすぐで細い各々は太い各々に従う。そのため類似させることの不在の(=比類ない)ために、1000は諸々の文字を軽くしそれらを細くする。そして(アリフの文字の形である)立った滴をそれらに立てる。そして文字に関係した諸々の1において、それに似ることはない。それら以外からはそれらの態様で認識されず、1つの語(kalima)の最後においてそれら(諸々の1)以外(の数字)はそれ(1つの語)に先行しない⁽³⁶⁾。そこでそれらは最初に関わることと最後に関わることを指し示す。さもなければ玉座の世界は高御座の世界へのつながりに適合する。シーンは全体での高御座の階段の最後であるために、その最後は

ヌーン (ن) の分類に従う。ヌーンは諸存在を運ぶ (ḥāmil)。つまり、大きな魚⁽³⁷⁾である。ヌーンはシーンに由来するので。そして諸存在はヌーンに由来する⁽³⁸⁾。以上のように高次の世界はヌーンに由来する。(アッラー) —いと高さ—は言った。「ヌーンかけて、ペンかけて、彼らが線描することにかけて。」⁽³⁹⁾ それゆえペンは目に見えるそのヌーンに由来する。その事柄は、隠された秘密になじむその内奥の遮蔽物 (kāff) である。そしてこれは線描されるようにしないシーンの秘密である。〔*kubrā* p.104〕

このように、シーンは高御座を意味する文字'arshの最後の文字であり、そのシーンを3文字で書いた文字 (ش ى ن) の最後の文字ヌーンは諸存在の由来源である。また文字の中で最も大きな数を表す1000 (alf) は、アラビア語アルファベットのアリフ (alif) と同じ表記であり、この前に文字はなくまたこれは1も意味する。それゆえシーンを1000回書くことには特別な意味があり、これが呪術的な力の根拠とされているのである。

(4) 魔法陣⁽⁴⁰⁾を用いた呪術⁽⁴¹⁾。

シートに書き、それを、子供達を流産する女に運んだ時、彼女はその後流産しない。…
 <中略>…そしてこれはそのイラスト (ṣūra) である。〔*kubrā* p.497〕

続く〔*kubrā* p.498〕には25×25の表の中にmālik al-mulkⁱ dhū al-jalālⁱ wa al-ikrāmⁱ (力と名誉を持つ王権の支配者) の25文字 (م ا ل ك ا ل م ل ك ذ و ا ل ج ل ا ل و ا ل ا ك ر ا م) を上下左右に一文字ずつずらして入れる魔法陣が描かれている。このアッラーの別名に関わる魔法陣では同じ文字が斜めに並ぶ。またこれらの文字はいずれも数値を持ち (右から40, 1, 30, 20, 1, 30, 40, 30, 20, 700, 6, 1, 30, 3, 30, 1, 30, 6, 1, 30, 1, 20, 200, 1, 40), 縦と横はいずれの行も和が等しくなる⁽⁴²⁾。このような、魔法陣の文字の並びと文字によって示される数の和という文字と数の神秘的力がおそらく呪術的な力の根拠となっていると考えられる。

以上、*kubrā*に現れるいくつかの呪術を見てきた。これらが元来のブーニーの思想とどの程度関わりがあるかは不明であるが、文字と数の神秘的な力が呪術の力の根拠となっている。ではそのような力はいったいどのようにしてもたらされるのだろうか。この問題を考える前にアッラーの別称の1つ、khāliqの記述中の妊娠・出産に関する記述を見ていくことにする。

4 アッラーの別称の1つ, khāliq (創造者) と妊娠・出産について

ここでは、アッラーの99の別称の内、この名称に関する記述を中心に、妊娠・出産に関する考えを見ていく。胎児の成長に関する記述には他の著作からの影響も見て取れる⁽⁴³⁾。

次のことを知れ。アッラーは7つの諸天を創造し、それらに諸々の光の覆いと、徴収した諸奇跡の運搬諸装置を置いた。そして7つの諸地を創造し、それらにその恩恵の諸宝庫を置いた。…<中略>…そして付け加えるなら、汝の中にこれらの諸段階 (aṭwār) に関係することを置き汝を小さな世界と呼んだ。真実を追求する者達の一部⁽⁴⁴⁾は言った。

「汝は小さな塊であると主張する。だが汝の中には最も大きな世界が折り畳まれている。」そしてそのことは、諸段階の内66⁽⁴⁵⁾ × 1000の段階を集め、24時間により分けられる24 × 1000の靈魂を集める。そしてそれらは1日と1夜に従い分けられる。そのとき、(それは) 1日と1夜に従って分かれるそのことに従って、24時間である。次いで、アッラーは全ての段階が地である下位の諸段階のステップに従って汝の心の諸段階を置く。暗闇の覆いはそれ(地)の覆いであり、それらの恩恵の⁽⁴⁶⁾暗闇である。そのことに従い、物理的な汝の成長の諸段階を置く。次いで、彼(アッラー) —いと高き— が言ったことの最初は、「卑しい水から」⁽⁴⁷⁾である。それから我々はそれをしっかりとした定着において精液とし、それから我々はクルアーンのくだりの凝血⁽⁴⁸⁾などに創造する。これは困難な諸問題 (mushkilāt) の7つの諸段階である。だが汝は困難な諸問題を除くと6つの諸段階の中にある⁽⁴⁹⁾。つまり、アッラーは創造されたのと創造されない諸精液を知る技術(靈知)について委託された高御座の天使達に命じる。次いで彼らは、アッラーが生じることを望む者の前で精液を手にする。そして彼ら(天使達)は精液が子宮に落ちるまで前進し続ける。すると天使達の手で(精液は)それ(子宮)に遭遇する。そして彼らは子宮内にゆっくりと置く。そして彼らは子宮内でうろうろする。そして彼ら(天使達)はそれ(子宮)の上にアッラーを呼び、シャイターン(悪魔)はそれ(子宮)に近づかない。そして彼らは40日ずっとそのことに従う。…<中略>…なぜなら彼(アッラー)に従う高御座は慈悲遍き (raḥmān) の名称であるからである。というのも、子宮 (raḥim) は慈悲深さ (raḥīm) により割れるからである。そしてそのため彼(預言者ムハンマド) —彼に平安がありますように— は言った。

「アッラー —いと高き— は、それは子宮であると言う。そして私は、慈悲深さはそれ(子

宮)を示す名称が名称に関係することに由来すると考える。そこでそれ(子宮)に到達する者は我々に到達し、それ(子宮)を切断する者は我々を切断する。そして40(日)1つの精液と共にずっと諸精液の天使達はうろうろする。それは彼らのもう1つの世界における目標のためにそれらを強固にする目標である。」

(忠告) 次のことを知れ。胎児が4か月に達し動いたとき、降下は早急である。そして医者達は7(か月)時の赤ん坊は生存すると言った。そして8か月時に生まれたとき生存せず、賢人達と占星術師達の間の研究が生じた。そこで賢人達は言った。7か月の完成と共に子供は出るために動く。そして出るなら(子供は)生存する。他方、準備されていないならば動きの後に腹の中に入る。そして8か月目内には動かない。このためその動きは少なくこれは危機の前である。なぜなら、危機の日において自然は準備中に出生の危機を1日と1夜で押し出すことに従事するからである。そして排出のために静かになる。そして8(か月)目における動きが覆いを除去するならば、諸々の熱の類がその場所で上昇する。そのため子供は弱さの極限で弱くなり生き長らえない。そして占星術師達は次のことを言った。子供は子宮内に至ったとき、最初の軌道の教育と共に土星が教育する。2番目は7(か月)目まで木星である。次いで8(か月)目へと至ったとき、休憩(があり)、それは土星の所有である。なぜならそれは乾燥して冷たく、その性質は死であり、子供は生き長らえないからである。そして最初は真正である。

そして次のことを知れ。赤ん坊が最初の40(日)に達したとき、知識の天使達はそれを譲渡し、その事柄を考慮する。次いでアッラーがそれと共にその死又はその落下(流産)のような事柄を望んだとき、彼ら(天使達)に彼(アッラー)の命令を忘れさせる。一方アッラーがその先天的性質の完成を望んだとき、神の秘密を伴った諸天の人々の骨がそれ(赤ん坊)に達する。(それは)言葉(による説明)を考慮する(ことができ)ない⁽⁵⁰⁾。成長の完成は不幸であれ幸福であれ全体のヌーンを伴う⁽⁵¹⁾。そしてそれ(赤ん坊)のために成長の完成が完全となったとき、タウヒードの天使達はそれを受け取る。以上のように信頼できる天使達が右側の人々のうちにあるなら、アッラーはそれ(赤ん坊)のために信頼と知恵と追加の諸々の光の間で集める。するとそのこと⁽⁵²⁾と共に、それ(赤ん坊)の出産において天と地の間の物を満たすアッラーの光が目に見える。そして天使達はそれらの諸々の声をタフリール⁽⁵³⁾とタクビール⁽⁵⁴⁾と共に上げる。そしてこれを預言者達と誠実な者達と証人達と正しい者達に授ける。他方アッラーが彼の自然の性質の光と彼の知恵の諸々の光を削除したとき、諸天と地を誤謬が満たす。するとシャイターン達と放蕩者の

諸霊が叫ぶ。そして目に見える暴力ではなく、むしろ懲罰の力を持つ知恵の顕現と意志の完成を導く不服従のために火を灯す。…<中略>…我々は水に由来して生きるもの各々を配置する。その中で生のための物各々は諸世界内の世界の中の秘密である。それは水の軌道⁽⁵⁵⁾中の内部である。それは(アッラー) —いと高き—が言った、彼の玉座の水である、最も遠い永遠の高御座の洪水から得た物のうちである。そして彼(アッラー)の高御座は水の上にある。

(忠告) 次のことを知れ。彼(アッラー) —創造するいと高き—の名称から創造由来の段階(ṭawr)における霊由来のその諸要素の数は731⁽⁵⁶⁾である。それをその初めの軌道において汝は見出すであろう。管理者はこの精液を40日管理する。そして特別にされた名称の力に固着した靈性(rūḥāniya)により日ごとにその秘密が広がる。次いで、段階に関係し、光に由来する覆いに関係した40(日)が完成したとき、それらの上を回るのは、永遠の設置への(アッラー) —創造者—の名称と共に、そして一時的な書物と、靈性の帰属と始まりの諸段階から創造する者の数(と共に)、それらの諸管理を伴う彼—造物主(bārī)でいと高き—の名称である。全体の補助は、それらの諸世界の管理と共に彼—造物主—の名称により胎児を伸ばす244の光である。…<中略>…そして3つの諸名称の循環が完成するまで、循環に関係するそれらの諸軌道がそれらを上を回らざるこれらの光に由来する諸段階は止まらない。それら(3つの諸名称)は創造者(khāliq)と造物主(bārī)と形成者(muṣawwir)である。これらは、彼—力強くいと高き(ta'ālā al-qadīr) —の名称を彼らに伸張する。つまり諸々の運命の光からそれの上へ溢れ出る。[kubrā pp.441-444]

以上のkhāliqに関する記述からは、胎児の発生に関する考えの一端がうかがえる。

- (1) まず、人間を含む生き物は、アッラーの玉座の水から作られるという点である。これは、最も遠い永遠の高御座の洪水から得られるもので、kubrā p.483の宇宙観を表す図では、惑星や恒星よりも外のかなり外にあり、その水の上に高御座があるという。
- (2) 受胎後、人間は惑星が教育する。この点は純正同胞会の第25書簡や一部のアラビア語医学書や占星術書⁽⁵⁷⁾と似た発想を持つが、ここでは1か月目を土星が教育し、7か月目までを木星が教育し、8か月目に休憩があり、土星の所有となるので、古代ギリシア以来考えられていたように8か月時に生まれた胎児は生き長らえないと考える。
- (3) 赤ん坊が受胎後最初の40日に達したとき、知識の天使達がそれを譲渡する。天使達はそれまでは精液の周囲をうろうろし、その後3つのアッラーの別名(khāliq, bārī,

muṣawwir) が胎児に影響を及ぼすと考えている。妊娠4か月はただ胎児が動くのみでありそれ以外に特に意味を認めていない。

これらのうち多くのハディースでも述べられる(3)の期間は宗教的勤行に関する別の個所でも問題となっているので次にこの問題について見ていく。

5 宗教的勤行と受胎後40日の期間について

以上に引用したkhāliqの説明の続きには次のような記述がある⁽⁵⁸⁾。

(アッラー) —創造者, 造物主, 形成者, に讃えあれ—は言う。孤立と勤行 (riyāḍa) の期間は40日である。すると汝のために諸事の諸々の微粒子から (目に見えないことを) 明らかにする。そしてそのジクル (神名の喚起) についていえば, 慈悲遍く慈悲深きアッラーの名にかけて, おお神よ, 汝は第1の被造諸物とそれらの構成要素の創造者である。…<後略> [kubrā p.444]

また, アッラーの別名bārī'「造物主」の説明の中には次のような記述がある⁽⁵⁹⁾。

次のことを知れ。アッラー—いと高き—が創造者の彼の名称と共に構成の完成することを望んだとき, 諸世界と共に彼の名称「造物主」の軌道はそれを伸張させる。それから「形成者」と共に (伸張させる)。そして彼の名称「強力な (qadir)」の軌道はその上に裝飾される⁽⁶⁰⁾。そしてそのために諸作用を始め, そのとき預言者の諸々の印である霊に由来する出産の最初に (構成の完成が) 生じる。それらは諸会期の最初でありそのため彼 (預言者ムハンマド) —彼に平安がありますように—は彼の言説と共に, まるで彼が罪のない者であるかのように罪による後悔に注意を払う。そしてもう1つのハディースにおいては, 彼の母が彼を生む日のように彼の諸々の罪から出る。これは, 諸々の高度な出産の諸段階の最初である。そして諸傷の落下の最初である。次いで, その諸々の線の最初が345の線である管理のページの中で彼らが様々な色に塗ることを完成し, 又は構成に関わる諸段階の霊知と, この名称を伴ったアッラーへの接近と共に名称の階段の現実化を完成したとき, (罪の) 破壊は必然である。そして思考は, マラクトの諸世界と諸秘密の観察に執着する。そして汝には, タウヒードの諸真実の中を⁽⁶¹⁾ 深く貫通することが課される。次いで, 汝が孤立へと入ることを望んだとき, 汝は40日勤行すべし。そして, 3つの諸名称の誦唱は義務であり, それらはある状態が汝を圧倒する, 創造者 (khāliq), 造物主 (bārī'), 生

きた形成者 (muṣawwir) である。すると諸世界は汝に話すであろう。そして汝には、各時に諸名称の誦唱が課される。〔*kubrā* p.446〕

これらの記述にも出てくるように、40日の宗教的勤行は天使により胎児に霊が吹き込まれる期間と関係している。これに関係して次のような真偽不明の逸話が伝えられている⁽⁶²⁾。

私 (アフマド) はシャイフ・アブドゥル・サマド・アル・アンダルスィー⁽⁶³⁾ —アッラーが彼に満足しますように一の前に座っていた。そして男が⁽⁶⁴⁾ シャイフに近づいたときシャイフは良き返事と共にサラーム (挨拶)⁽⁶⁵⁾ を返した。… 〈中略〉…

彼 (シャイフ) は彼 (男) に言った。

「汝の断食40日を過ごし完成せよ。そして私に会いに来て、汝の必要を執行せよ。」

そこで男は (40日の) 期間過ごして断食を執行し、それからシャイフに会った。そして彼 (シャイフ) に言った。

「おー、私の主よ、私は40日の断食を執行しました。」

次いで彼はシャイフと共に言った。

「今私・汝は道德的卓越の資格が与えられました⁽⁶⁶⁾。」

それからシャイフは (中に) 入り、彼と共に布1切れを出した。次いでそれを開き、それを長く注意深く見てそれに同意した。そして彼の頭を揺らし、それ (1切れ) をその男へと引き渡した。そしてシャイフはそれ (1切れ) を彼に勧めた。次いで男は聴聞及び慎重深い行為と共に返事した。そしてシャイフの手を受け取った。男が我々から見えなくなったとき、私はシャイフへと近づき、彼の手を受け取った。そして私は言った。

「おー、私の主よ、あなたがこの男へと引き渡した1切れは何なのですか。」

するとシャイフは言った。

「おー、アフマドよ、その中にはアッラー—いと高き—がただそれと共により良きことを望んだ者についてのみ見えるようにする秘密がある。」

そこで私は言った。

「おー、私の主よ、それと共に汝が私に知らせる (こと) について言えば、私には返事を返す (ことは) できません。そこで私は私の靈魂 (nafs) の中で取得します。」

そして私は言った。

「私を置いてください。」

私は2回シャイフに尋ね、次いで数日掃除し、それらについて彼に尋ねた。だが彼は私に(何も)知らせなかった。そこで私は1年間彼に言葉をずっと繰り返した。だがシャイフは私に返事を返さなかった。そして1年後になったときシャイフは自発的に私に言った。

「おー、アフマドよ、汝の質問について望む物はこれである。」

そこで私は彼に言った。

「おー、私の主人よ、私はこの祝福された諸名称について知ることとそれらに携わることとを望んでいます。」

するとシャイフは言った。

「おー、アフマドよ、汝がそのことを望むなら、40日断食せよ。それらの中では霊の持ち主も、霊から出た物も食べてはならない。次いで、汝がそのことを行うなら、私は汝にそれらの中の物を知らせる。」

そこで私は聴聞と服従と共に彼に返答した。それから私は断食へと引きこもった。するとアッラー—いと高き—はそのことについて私を補助した。次いで私が40日の断食を完成したとき、私はシャイフに会って彼の手を受け取り、彼に断食について知らせた。するとシャイフは言った。

「今、道徳的卓越が必然とされた。」

それからシャイフは孤立した場所に入り、長く見えなくなり、それから出た。そして彼の手の中に布1切れがあった。次いで彼はそれに同意した。それから彼は言った。

「おー、アフマドよ、それの中の物を汝は知っているか。」

そこで私は言った。

「私は知りません。」

するとシャイフは言った。

「次のことを知れ。これらの諸名称はムーサー(モーセ)の敵とシュアイブ⁽⁶⁷⁾—両者(ムーサーとシュアイブ)に平安がありますように—の敵の上にかかれた。そしてユースフ(ヨセフ)—彼に平安がありますように—の調理器具の中に美しい特徴で書かれた。そしてダーニヤール(ダニエル)—彼に平安がありますように—の剣の上であり、煉獄の中に投げられたときイブラーヒーム(アブラハム)—彼に平安がありますように—と共にあった。そしてイーサー(イエス)—彼に平安がありますように—と共にあり彼はそれを使徒達のために教えた。そして彼らの最後は使徒シムウーンである。そしてアッラー—いと高き—をそれと共に呼び出しそれと共に諸々の病と諸病気は回復する。それらを運ぶことを捕食

性諸動物と残りの被造諸物は恐れる。アッラーはジン（幽精）と人類の邪悪からそれを保護する。残りの（邪悪な）諸言語は、彼から離れて凝固する。諸戦争の中で多くの者達の間に入るとしても、誰も彼の手を固めず、決して誰も邪悪と共に殺人をすることができない。諸軍と敵達は彼の前で打ち負かされる。そして彼の頭における頭痛又は彼の目における眼炎又は彼の体における諸病中の病気のような、苦痛が彼と共にある者は、これらの諸名称を鳥の皮紙の中に又はガゼルの皮紙の中に書け。そしてその上を掌で打て。そして（クルアーンの）開扉の章と玉座のくだり⁽⁶⁸⁾（と）純正の章⁽⁶⁹⁾と最後の2つの章（mu'awwidhatān）⁽⁷⁰⁾を、麝香及びサフラン及びバラ水を濃くしたガラスカップの中に書け。そしてそれらを飲め。するとアッラー—いと高き—は不快に感じる物全体から彼を健康回復させるであろう。…〈後略〉〔*kubrā* pp.248-249〕

この逸話によれば、アフマド（ブーニー）が導師から、呪術的な力を有する諸名称の秘密の書かれた布きれ（刊本にはそれと思しきイラストがある）を授与されるために、1年間無言の導師に従った後に、指示を受けた40日の勤行がなされ、その後に道徳的卓越が完成して初めてその秘密を教わっている。ただ勤行の内容については、中に霊が入っている者を食わずに引きこもる以外はあまり詳しくはわからない。これについては次のような記述がある^{(71) (72) (73)}。

彼（アッラー）—いと高き、見えないことをくまなく知る（ta'ālā 'allām al-ghuyūb）—のジクルを40日続ける者は、それらの中に霊（のある物）を食べてはならないし、彼の妻達を近づけてもならない。すると人々の諸状態を知り、彼以外の者からは見えない物を見るであろう。そしてそれを続ける者は諸々の不思議を見る。そして彼の時代の中にその（不思議なことの）類は残存しない。〔*kubrā* p.280〕

日曜日に勤行を始め、勤行の条件で40日断食し、そして1日ごとに432回クルアーンのくだりを唱え、夜のうちに少ししか眠ってはならない。そして健全な隔離場所（khalwa）にいて、それらの中で諸々の音について何も聞いてはならず、朝と夕に香を慣習とし、沈香（'ūd）と竜涎香（nadd）⁽⁷⁴⁾と麝香及び竜涎香を合わせた香の一種（ghāliya）を一緒に合わせ、乳香を保持せよ。そして汝の上着は清浄で白であるべし。そして3日ごとにグスル（大浄の儀礼）をせよ。そして、握った麝香で香りづけせよ。そして、早朝礼拝の最後

の部分で、そのジクルの次の部分に1回唱え、昼前の礼拝で1回（唱え）、日没礼拝で1回言え。次いで、20日が完成したとき、汝には召使たちの内の召使いが来る。そして汝に言うであろう。

「おー、アーダムの息子よ、汝のために20日が過ぎた。汝はこの労苦において、汝の靈魂（nafs）の喜び（を得るべき）である。富について汝にとって十分である物を得よ。」そしてこの言葉について汝のために誇張するであろう。だが、それについて何も受け取らず、40（日）が完成するまで、ジクルを行い続けよ。そして夜ごとに健全な寝場所に注意を払え。すると40（日）後に汝に対して家は光で満たされる。そして、「慈悲深き主からの言葉によるサラーム（平安あれ）」⁽⁷⁵⁾がその中に書かれた、汝がその中に（いる）諸々の壁と場所を観察せよ。すると汝には天使が入る。それは乗物であり、彼の力は多く創造する召使達からなる。そして汝にサラームを言う。〔*kubrā* p.262〕

gyaybは隠れたことについて、shahādaは見えることについて、考慮することである。そしてこの名称のために孤立と勤行と名称の誦唱継続とハラール（適法な物）を食べること（をなし）、礼拝ごとに名称の誦唱の数を準備せよ。そして40（日）の完成後、手下に4つのリーダーがいる、彼の天使ヌールヤーイルが下りる。（4つのリーダーは）ムルクとマラクートから、彼のために（隠れたことを）暴露すると述べるために来る。そして眠りと目覚めの中で、彼自身霊に関すること（rūḥāniya）を見るであろう。〔*kubrā* p.473〕

これらの記述でも、40日の完成後、天使が下りてきて宗教的勤行をした人に目に見えない秘密が暴露されている。このように、受胎後40日で胎児に霊を吹き込むという多くのハディースにも述べられる日数は、数の神秘と相まって、神と人間を仲介する天使によりスーフィー的な宗教的勤行の成果が認められ、見えない秘密が暴露される日数と関連づけられている。以上見てきた所からすると、ブーニーに帰せられる文字と数の呪術の力というもの、単なる自己のエゴ実現のための手段ではなく、スーフィー的な神への帰依に基づく勤行の結果、高度な世界からいわば褒賞として与えられる神秘的な靈知（ma'rifa）であり、単なるオカルトとして一笑に付すべき性質のものではないことは、広く出回っている *kubrā* の印刷版の中からも看取されるのである⁽⁷⁶⁾。

6 おわりに

以上、ブーニーに帰せられる呪術と妊娠・出産に関わる記述を垣間見てきたが、まず呪術においては、古代オリエントの時代から行われてきた出産呪術とは異なる、イスラーム的要素や中国伝来ともされる魔法陣などの新たな要素も加わって、ブーニーに帰せられる呪術理論を元にした多様な呪術が行われていることがうかがえる。また、文字と数の神秘を重視する呪術思想から、アッラーの99の名称の意味を解説する中で、多くのハディースでも述べられる、受胎から天使が霊を注入するまでの40日の期間が、宗教的勤行によって天使が中に入る期間と結び付けられている。これらにおいては、いずれも文字と共にアッラーと人間との間を仲介する多様な天使が重要な役割を果たしている。人知を超えたアッラーをそのまま認識し、アッラーに直接願いをかなえてもらうことは困難だからである⁽⁷⁷⁾。

これは、初期メソポタミアのシュメール・アッカドのまじないで、上級神と下級神との対話を通じてより人間に近い下級神が呪術的な知恵を授ける構図とも共通性を持つ。また、プラトンの『饗宴』におけるディオティマの教説等で示される、神と死すべき者である人との仲介する「ダイモーンのなもの」〔プラトン著朴訳2007 p.98〕の重要性も、人知を超えた神と人との間をどのように取り持ち、一般人にその恩恵をもたらすかという課題と密接に結びついている。ブーニーの名を冠したものをはじめとしたイスラームの呪術と古代オリエントやヘレニズム期の呪術との関係はまだ十分に研究されているとは言えないが、多神教世界での呪術が一神教の下でどのように変容していったかという問題は、多神教と一神教の融和という現代的見地からも今後とも研究に値する問題であろう。

〔注〕

- (1) 我が国での文化財の範疇に当たる製作物の例としては、例えばまじないボールと呼ばれる鉢がある。イスラーム以前のアラム語で記された土器のまじないボールとその形は似ているが、イスラームのものは金属製であり、そのうち年代のわかる最古の物はシリアの支配者ヌールッディーン・ブン・ザンギーのために西暦1167年に製作された物である〔Pormann&Savage-Smith 2007 pp.151-153〕。
- (2) 現在のアルジェリア沿岸にあるブーナ（ローマ時代のヒッポ、現代のアンナーバ）出身とされる〔Gardiner 2012 p.87〕。
- (3) ブーニーの没年について *Shams al-ma'arif wa laṭā'if al-awārif* の説明のところでオスマン朝期の〔Ḥajjī Khalifa, *Kashf* 4/75〕がH.（ヒジュラ暦）622年（厳密には西暦1225-6年だが殆どは1225年に含まれる）を示すことから〔Ullmann 1972 p.390〕,〔Dietrich 2004 p.156〕もこの没年を採用するが、同著の別の箇所〔*Kashf* 4/248〕ではH.630年（西暦1232-3年）を没年

としていて、最近の論考では疑義を呈するものもある〔Gardiner *ibid.* p.93〕。

なお、今回は参照できなかったが、わが国でのブーニーに関する研究としては阿部楽方1990年「アル・ブーニーによる偶数次親子方陣の一般的作法」『数学史研究』125 pp.27-36、また同1991年「ウァーラー・ハミヒラの4方陣とアル・ブーニーの4方陣の関係について」『数学史研究』131 pp.3-11があるようである。

- (4) ma'arīfはma'rifaの複数形で、後者はヘレニズム神智学のグノーシスに当たる「霊知」と解されている〔R.A.ニコルソン著中村訳 1996 pp.92-93〕のでそれに従った。なお、*kubrā*刊本の各巻頭ページ〔p.1, 143, 267, 397〕でも引用されている〔Ḥajjī Khalifa, *Kashf* 4/75〕では

「この本により狙われることは、そのことによりアッラー—彼に讃えあれ、そしていと高き—の諸名称の高貴さと、諸々の知恵の諸本質の諸種類のうちそれらの海の中に横たえる物を知ること、並びに労苦なくして神の臨在へと到達するクルアーンの諸節の諸文字を呼び起こし、それに従う諸名称について、どのようにして恣にするかと、それと共に現世の欲求の諸目的に達すること（を知ること）である。」

原文：（但しこの刊本では実際にはアッラーの文字の上にシャッダはついていない。）

المقصود من هذا الكتاب ان يعلم بذلك شرف اسماء الله سبحانه وتعالى و ما اودع في بحرها من انواع الجواهر
الحكميات و كيف التصريف باسماء الدعوات و تابعها من حروف السور و الايات يتصل بها الى الحضرة الربانية من غير تعب
ما يتوصل بها الى رغائب الدنيا

と現世利益的側面が強調されており、書名をGreat Sun of knowledgeとする紹介〔Pormann & Savage-Smith *ibid.* p.148〕などに影響していると思われる。

- (5) *kubrā*の名のついた写本のうち最も早い物は、西暦1623年に年代づけされるバイエルン州立図書館MS2755であるという〔Gardiner *ibid.* p.124〕。

- (6) なお、〔Gardiner *ibid.* p.132,139〕によれば学問的な版の第1巻がCorderoの博士論文〔Cordero2009〕の中で産出されている。これはパリとベルリンにある4つの写本を元にした校訂本でスペイン語訳と共にweb上で公開されている。Corderoの第1巻は筆者の参照した*kubrā*の刊本では1・2巻のpp.1-266に当たると思われ、4巻からなる全体576ページ（ページは通し番号）の半分位であり、中身も刊本とかなり異なる。全体の整合性をとる観点から本稿ではこの校訂本を底本とはしていない。

- (7) 印刷された版はH.1291/1874年のカイロの石版画がモデルとなっているとされ、最古の物はH.1297/1879年にボンベイで確立した物であるという〔Hamès 2011 p.141〕。なおHamèsは、トルコ語訳の存在については触れていない。また〔Cordero *ibid.* p.xix〕はAlsanによるトルコ語訳について触れている。

- (8) ブーニーの呪術思想のうち文字と数の関係については〔Lory 1987-88 p.102〕参照。

- (9) 引用原文：（以下本文中の引用原文について、中略部は\で示す。また全体的に刊本の印刷が悪く消えかかっている点や線などは推定しているが、破線の下線部は特に印刷が悪く見にくい部分を示す。実線の下線部は刊本の誤りと考えて訂正した部分を示す。）

و اعلم أن اسرار الله و معلوماته اللطائف و الكائنات و العلويات و الملكوتيات على قسمين أعداد و حروف فأسرار
الحروف في الأعداد و تجليات الأعداد في الحروف فالأعداد العلويات للروحانيات و الحروف لدوار الجسمانيات و الملكوتيات و
الأعداد سر الأقوال و الحروف سر الأفعال فعالم العرش أعداد و عالم الكرسي حروف فنسبة الحروف للأعداد كنسبة الكرسي
للعرش فيسر الأعداد فهيمت الفترة

- (10) 刊本^{لور}は^{لور}の誤りか。

- (11) 一般には'arshは玉座, kursiは椅子を意味し、〔Gardiner *ibid.* p.106〕は前者をThrone（玉座）、後者をFootstool（足台）とする。ただ〔*kubrā* p.483〕の宇宙観を表したバームクーヘン状の

- 図と、文字呪術を取り扱った〔Ibn 'Arabī, *al-Fṭūḥāt* 1/227〕ではkursīは'arshの腔内に見出されるところとしている点、日本語では玉座を取り囲む構造体が高御座であるという点に留意し、ここでは〔中田監修2014〕のクルアーンの訳語に従う。
- (12) ムルク、ジャバルート、マラクートの世界については〔中村2002 pp.100-121〕参照。但し、ブーニーに帰せられる著作では語彙が体系的でないのみならず、存在の個別化過程も叙述されず〔Lory 1987-88 p.101〕、これらの世界の概念もわかりにくい。
- (13) 引用原文：
 فيسر الاعداد فهم سر العقل الرباني و بسر الحروف فهم سر الروح الروحاني فأخر مرتبة العقل أول مرتبة النفس العلوية و هي الفيض الأول أيضا كما أن الحروف مأخوذة من حرف الشئ و هو طرفه و كان العدد أوله و أوسطه و لكل أول وسط و طرف فيسر الحروف فهم سر الكرسي الاعلى و الكرسي الواسع الابهي و ذلك أن الذوات من العالم العلوية و السفلية مختلفة باختلاف ذواتها في الكرسي الاعلى و اختلاف نقلها و أطوارها في الكرسي الابهي فالكرسي الواسع أول مبادئ العرش من نسبة أول انبعاثات الحقائق الملكوتيات و استمداد آخر درجة من السفليات أول درجة من العلويات ☆ و اعلم أن العرش الابهي فيض النور الأول و الكرسي الواسع فيض النور الثاني و الكرسي الاعلى فيض النور الثالث فالفيض الأول أعنى الثالث هو الأول و الثالث هو أول الحروف و آخر مرتبة العدد و هو السر المعبر عنه بحقيقة البشر الذي فيه التنبيه بقوله تعالى انى خالق بشرا من طين
- (14) rūḥは英語のspiritにあたる霊的な物を意味するが物質的な氣息も意味することがあり、nafsの意味とも相まって様々な見解がある。
- (15) 新プラトン主義的な流出論の影響と思われる。Corderoは洪水を意味するfayḍをla emanación divina (神的流出)としている〔Cordero2009 pp.xx-xxi〕。
- (16) クルアーン、サード (38) 章71節。以下クルアーンの参照章節は〔中田監修2014〕による。
- (17) 母音が表記されておらず、文脈からしても橋と交差点のどちらの理解も可能である。
- (18) 引用原文：
 و لا مغير لذوات جرمها بما يظهر في عالم الحقيقة الجلية البشرية و سر التركيب و هي لحقائق الكرسي الاعلى ذلك في عالم الملك و تظهر له حقيقة العالم الانسانية سر للكرسي الواسع عالم الجبروت و تشهد به في حقائق الروح العلوية أسرار الكرسي الابهي
- (19) 引用原文：
 و لما كانت حقيقة العالم العلوى و السفلى نسبة في ذات العرش كان سر ثباتهم فيه بالسطرين المكتوبين بالنورين أعنى النور الابيض و النور الاخضر و هما لا اله الا الله محمد رسول الله فذلك السطران النورانيان أسفل العرش فافهم حقيقة هذه اللطيفة النورانية و لما كانت الثمانية الذين يحملون العرش يصدر عنهم أرواح الملكوتيات و أنوار لجبروتيات كان العالم العلوى كله أنوار او نور الانوار و هو العرش و منورالنور هو الله
- (20) 刊本ذلكは那の誤りか。
- (21) クルアーン、必ずする者 (69) 章17節参照。なお、イブン・アラビーによれば8つの天使が存在するのは来世の復活の時であり、現世では4つである〔Ibn 'Arabī, *al-Fṭūḥāt* 1/226〕。
- (22) 引用原文：
 و كان لكل فلك ٣ أحرف يبرز من كل نور حرف سائل ثم أفق كل ملكوت و جبروت و فلك نور الملكوت بمد العقول و نور الجبروت بمد الارواح و النور الملك بمد القلب فتمت ٢٤ للثمانية أملاك من ضرب ثلاثة في ثمانية و لذلك من قال لا اله الا الله محمد رسول الله وصلت العرش و ذلك ان تصعد الكلمة الطيبة بذاتها لان لها نسبة في الملك و عروجا في الجبروت و صعودا في الملكوت قال تعالى اليه يصعد الكليم الطيب و العمل الصالح يرفعه و لذلك من قالها عند نومه بالعدد المذكور باتت روحه تحت العرش تتغذى من ذلك بحسب قواها و لذلك من قالها عند رؤية الهلال أمن من سائر الاسقام و من قالها عند دخول المدينة أمن من فتنها و من قالها بقصد التطلع في العلويات كشف له غيب ما قبده
- (23) 刊本اللهは那の誤りか。
- (24) 「」内の信仰告白を意味する2つのフレーズはいずれも12文字のアラビア文字からなり、合計すると24文字になる〔Canaan2004 p.177〕。
- (25) 引用原文：

فكان أول ما خلق الله تعالى القلم الاول ثم بعده اللوح الاول و قال للقلم اكتب فقال و ما اكتب قال اكتب ما هو كائن الى يوم القيامة فكان ذلك ثم خلق العرش ثم خلق بعده الكرسي و هو على الماء ثم خلق السموات و الارضين و ما فيهما و ما بينهما ثم خلق ذوات الموجودات و احاط بها علماً و احصاها عدداً على اختلاف أجزائها و تفرقة عوالمها ثم نشر الفطر على استواء ما كان مشيئة و تدبير حكمه ثم ابرز العقول على ما قدر لها من توحيدها ثم خلق الارواح في نشأة احكامه ثم خلق الصدور و جعلها مراكز الارواح و مستقر الحياة ثم خلق الملكوت الاعلى ثم انشا الحروف من انوار صفات و اودعه اللوح المحفوظ الاول المكتوب فيه للذكر ليس بقلم تركيبى و لا يفهم تقريبي و انما هي ارادة ازلية مضافة له بقوله تعالى \ ثم خلق عالم الملكوت

(26) クルアーン、星座(85)章22節参照。

(27) 同上参照。

(28) 引用原文：

ب س م ا ل ل ه ا ل ر ح م ن ا ل ر ح ي م \ و اذا كتبها في جام زجاج أربعين مرة و محابها بماء زمزم أو ماء بئير عييب و شرب من ذلك الماء أى مريض كان عافاه الله تعالى و اذا شربت منه متعسرة عن الولادة وضعت حالا \ و اذا كتبت ١١٠ مرة للمرأة التى لا يعيش لها ولد و العاقر التى لم تحمل بعد طهرها من الحيض ثلاثة أيام و حملت الورقة و وطنها الزوج فانها تحمل باذن الله تعالى و لا تضع الورقة بعد سنتين يوماً فانها تحمل بولد صالح و لا ترى لحمله ألماً ولا مشقة باذن الله تعالى و اذا كتبت اخدى و سنتين مرة و حملها من لا يعيش أولادها عاشوا و قد جرب ذلك و صح و الله على كل شئ قدير

(29) アラビア語の語を連結形でなく、独立形で1文字ずつ分けて書いた場合に呪術的効力が増すために、各々の文字を独立形で書いている。[Canaan ibid. p.152] も参照。またバスマラの19文字は地獄の門を守る19の霊に対応するという [Canaan ibid. p.130]。

(30) 引用原文：

و اما اسمه تعال الخالق من نقشه على خاتم فضة و الطالع أحد المثلثات النارية و تختم به و جامع زوجته حملت باذن الله تعالى

(31) おそらく、黄道12宮内の地・水・火・風の4要素のうち火の要素を持つ星座の上昇を指すと思われる。これらは線でつなぐと三角形になる。純正同胞会の書簡とプトレマイオスの『テトラビプロス』を参照。([Ikhwān al-ṣafā', Rasā'il 1/123] の第3書簡の記述及び [ibid. 2/435] の第25書簡の記述、並びに [Ptolemy (ed. tr.) F.E.Robbins 1940 pp.82-87] を参照) 純正同胞会はイスラームのオカルト科学の黄金期の主要部の1つであるという [Gardiner ibid. p.117]。

(32) 引用原文：

و يكتب فيه حرف الشين ألف مرة في أول ساعة من كل يوم يليق به عمله \ و أسرار الشين في العالم الجسماني أكثر من أن تحصى إلا أنه لا يحمل من به وجع في أعضائه لأن ذلك الإلم يقوى عليه الخاصة فيه إلا النفساء فإنه يهون عليها الولادة بانزعاج

(33) 引用原文：

كانت الشين في آخر حروف العرش و هي من توحيد العوالم المتعددة فلما كان الترتيب القدرى و لما رتب لكل شئ عرشا كانت الشين عرش الحروف و ذلك لعلو منصبها و ترتيبها و لا يوجد في الحروف ما يكمل عروشها الاحرف الالف لانه أصل شجرة الحروف و الشين اليها انتهاء الحروف و عروجها و لا يكون بعدها فرع الا من باطنها فلذلك الالف لا يكون قبلها الا ما هو منها و لما كان الشين كشكل الالف كانت المناسبة الشكلية مشتركة و الالف منبسطة في ٣ أحرف هكذا ال ف و الشين منبسطة من ٣ أحرف هكذا ش ي ن و كانت نسبتبه كنسبته و ان كان غير الشين مركبا من ٣ أحرف لا يكون عرشا للشين لانه لا ينتهى الى غاية لما أثبه و الرسوخ و كذلك تقدم من قوله شهد الله اشارة الى رسوخ التوحيد و عدم الوجود في الدارين و العالمين و السين الكرسي و لا يبعد أن يكون الكرسي هو الحامل له أعنى العرش لانك ترى ان الجسيم كرسى لعرش الشمس و في الحقيقة ان كل لطيف قائم بكل كثيف و لذلك كانت الالف أخف الحروف و ألطفها لعدم التشبيه و اقامتها قطر اقامتها و لا شبيه لها في الأحاد الحرفية و لا يعرف عليها من غيرها و لا يتقدمها غيرها في آخر الكلمة فهى تشير الى الاولية و الاخروية الا ان عالم الكرسي أليق بالاضافة الى عالم العرش و لما كان الشين آخر مرتبة العرش على الجملة كان آخره على التفصيل النون و النون هو حامل للاكوان أعنى الحوت فالنون مستمد من الشين و الاكوان مستمدة من النون و كذلك العالم الإرفيع مستمد من النون قال تعالى ن و القلم وما يسطرون فالقلم مستمد من تلك النون الذى هو ظاهر ذلك الامر الذى الكاف باطنه الدالة على السر المكتوم و هذا سر الشين لا يجعل مسطورا

- (34) 「」内はクルアーン、イムラーン家(3)章18節参照。タウヒードは唯一神崇拜を意味するとともに、1つにすることを意味するので2つの世界が1つになるという意味。
- (35) わかりにくい^が、太陽を含む天の軌道の外側に玉座の軌道、更にその外側に高御座の軌道があり、kursi (kursi) という語中のスィーン(س)の文字で表される玉座は、سを文字の形の中に含むشを語の最後に含む高御座を運ぶ物体であるという意味であろう。
- (36) 1つの語を意味する kalima (كلمة) という語の語末のター・マルブータ (ة) は単数を表すため1以外の数字は先行しないという意味か。
- (37) ムーンを光の洪水の中を泳いで存在を運ぶ魚に喩えている。ḥāmilは「妊娠する」も意味し、このことから子孫をもたらず文字ともなっている。
- (38) 刊本 *مسمند* は *مسمند* の誤りか。
- (39) クルアーン、筆(68)章1節参照。筆章はムーン章ともいう。なお筆者はqalamを筆ではなくペンと訳した。
- (40) アラブで最初に現れるのはジャービル・ブン・ハイヤーン(7世紀)の著作であり、その中では西暦1世紀のティアナのアポロニウスに帰せられているが、中国の港を訪れたアラブとペルシアの商人によって西アジアに導入された可能性の方がよりありそうであるという [Ittig1982 p.89]。魔法陣のうち最も単純な物は3×3のものであり、西暦850年成立とされるタバリー著の医学書『医学における知恵の宝庫』[Ṭabarī, *Firdaws* p.281]等の医学書や呪術書でも出産呪術として用いられている。これは縦・横・斜めのいずれの欄を足しても和が15になる魔法陣であり、[*kubrā* p.35]では4天使のうち死をつかさどる天使イズラーイール (ʾizrāʾil) と関係づけられている。
- (41) 引用原文：

و اذا كتب في ورقة و حملته المرأة التي تسقط الاولاد فانها لا تسقط بعد ذلك \ و هذه صورته

- (42) なお、この刊本では魔法陣の一番下の行の右から6番目の字が^كとなっているが^اの誤りで、左下隅の^اは^مの誤りであろう。トルコ語訳 [Alpay (tr.) 1997 4/317] では前者は訂正されているが後者は訂正されていない。

- (43) 引用原文：

و اعلم ان الله خلق السموات السبع و جعلها حجب الانوار و حاملات كرامات الجبابات و خلق الارضين السبعة و جعلها حجابين نعمه \ و ان الحق جعل فيك نسبة هذه الاطوار و سماك بالعالم الصغير قال بعض المحققين و تَرَعَمَ انك جرم صغير ☆ و فيك انطوى العالم الاكبر و يجمع ذلك ستة و سبوتون الف طور من الاطوار تجمع اربعة و عشرين ألف نفس التي تنقسم على اربعة و عشرين ساعة و هي منقسمة على اليوم و الليلة فتكون جبيناً اربعة و عشرين ساعة على ذلك منقسمة على اليوم و الليلة جعل الله اطوار قلبك على ترتيب الاطوار السببية طور الكل ارض ثم حجب بظلمة حجبها و ظلمة رحمتها فجعل اطوار نشأتك الجسمانية على ذلك فأول ما قاله تعالى من ماء مهين ثم جعلناه نطفة في قرار مكين ثم خلقنا النطفة علقة الخ الآية فهذه سبعة اطوار مشكلات فانت في ست اطوار غير مشكلات و ذلك ان الله يأمر ملائكة العرش بالمعرفة النطفة بالمخلقة و غير المخلقة فيأخذون النطفة في مقابلة من يريد الله ابراهه و لا يزالون يتقدمون حتى تقع النطفة في الرحم فتلقاها ابدى الملائكة و يضعونها في الرحم مهلا و يطوفون في الرحم و يسمون الله عليها فلا يقربها شيطان و يدومون على ذلك اربعين يوماً \ لان العرش عليه اسم الرحمن لان الرحم مشتق من الرحيم و لذلك قال عليه السلام يقول الله تعالى هي الرحم وانا الرحمن اشتقت لها اسما من اسماني فمن وصلها وصلني و من قطعها قطعني و لا يزال ملائكة النطف طائفتين بالنطفة اربعين و هو مبلغ أشدها لمبلغ في عالم آخرهم (تنبيه) اعلم ان الجنين اذا بلغ اربعة أشهر و تحرك فانه يكون سريع النزول و قالت الاطباء ان المولود لسبعة يعيش و اذا ولد لثمان لا يعيش و وقع بحث بين الحكماء و المنجمين فقال الحكماء ان الولد عند كمال السبعة أشهر يتحرك للخروج فان خرج عاش و ان لم يتهيأ يشرع في البطن عقب الحركة و لا يتحرك في الشهر الثامن و لهذا تقل حركته و هذا قبل الجحان لان الطبيعة في أيام الجحان تشتغل بدفع الجحان المولد في المعدة يوماً و ليلة و يسكن للتسريح و ان نفس التحريك في الثامن يقوم مقامه مثل الحرارتين و

ذلك يضعف الولد غاية الضعف و لا يعيش و قال المنجمون ان الولد اذا صار في الرحم يتربى بفلك الاول زحل و الثانى المشترى الى السابع فاذا انتهى الى الثامن استراح و هو ذو زحل لانه بارد يابس طبعه الموت و لا يعيش الولد و الاول أصح ☆ و اعلم أن المولود اذا بلغ الاربعين الاولى فان ملائكة العلم يتسلمونه و يتدبرون أمره فاذا اراد الله به أمرا مثل موته أو سقطه انساهم أمره و اذا اراد الله تمام خلقته فانه يتناولهم عظام أهل السموات بحكمة الهية و لا يعتبر بالقول و تمام النشأة بنون الجمع اما شقى أو سعيد و اذا تم له تمام النشأة تتلقاه ملائكة التوحيد و كذلك ملائكة الامانة ان كان من أهل النمين جمع الله له بين الامانة و الحكمة و أنوار الاضافة فعند ذلك يظهر في ولادته نور الله يملأ ما بين السماء و الارض و ترفع الملائكة أصواتها بالتلهيل و التكبير و هذا خاص بالنبیین و الصديقين و الشهداء و الصالحين و اذا طمس الله نور فطرته و أنوار حكمته ملاً السموات و الارض ظلمة فترعق الشياطين و أرواح الفجرة و تسعر النار لمعصية سبقت لا لمخالفة ظهرت بل لظهور الحكمة الفهرية و تمام الارادة \ و جعلنا من الماء كل شىء حى فكل ما فيه للحياة سر في عالم من العوالم فهو داخل في فلك الماء و ذلك مما اكتسب من فيض العرش الازلى الابدى الذى الماء كرسية قال تعالى و كان عرشه على الماء (تنبيه) اعلم أن من اسمه تعالى الخالق عدد عوامله الروحانية في الطور الخلقى سبعمائة و احدى و ثلاثون بتدبيره في فلك حصره و ان هذه النطفة يديرها المدير أربعين يوماً و لكل يوم من الروحانية المتعلقة بقوة الاسم المخصوص سعة سره فاذا تمت الاربعون الطورية و الحجابية النورانية و استدار عليها اسمه تعالى البارئ بتدبيراتها باسم الخالق الى الحط الازلى و الكتاب الدهرى و عدد من يخلق من النسب الروحانية و الاطوار البدائية و ان الامداد الكلى هو مائتان و أربع و أربعون نورا يمد للجنين من اسمه البارئ بتدبير تلك العوالم \ فلا تزال هذه الاطوار النورانية تتور عليها أفلاكها الدورية الى ان يكمل دور الاسماء الثلاثة و هي اسم الخالق و البارئ و المصور فهؤلاء يهدم اسمه تعالى القدير و ذلك أن يفيض عليه من أنوار المقادير

- (44) 純正同胞会の第25書簡「人間は少なく知っている (‘ālim)・小さな世界 (‘ālam) であるが、知 (‘ālim)・世界 (‘ālam) は大きな人間である。」原文：إن الإنسان عالم صغير، و العالم إنسان كبير، [Ikhwān al-ṣafāʾ, *Rasāʾil* 2/420] を念頭に置いている可能性がある。なお [kubrā p.461] にも同趣旨の「人間は複合体でありそれは小さな塊であるが、その中に最も大きな世界・知のマトがある。」原文：و ان الانسان مركب و هو جرم صغير و فيه الطوى العالم الاكبر との記述がある。
- (45) アッラーを示すアラビア文字の数値の合計を意味する [Canaan ibid. p.135]。
- (46) 刊本رحمتهاはرحمتهاの誤りか。
- (47) クルアーン、跪拝 (32) 章 8 節、送られる者達 (77) 章 20 節参照。
- (48) クルアーン、信者達 (23) 章 14 節、復活 (75) 章 38 節、凝血 (96) 章 2 節参照。
- (49) シャーフイー派法学者マーワルディーの著作では、粘土から始める胎児の創造段階を 7 つ、精液から始める段階を 6 つと考え、前者に状態 (ḥāla)、後者に子供 (walad) という語を用いている [Mawardi, *al-Ḥāwī* 12/386-387]。「7 つの諸段階」「6 つの諸段階」というのはこれを念頭に置いている可能性がある。なお、プーニー作品をコピー、購入した人物にはシャーフイー派やハナフィー派と記録された者がいたという [Gardiner ibid. p.113]。
- (50) トルコ語訳 [Alpay (tr.) 1997 4/152] の「言葉とペンと共に説明する可能性がない： söz ve kalemlle açıklamanın imakânı yoktur」という趣旨と思われる。
- (51) 先述したようにヌーン (ن) は高御座を意味する 'arsh の最後の文字シーン (ش) という文字の発音をアラビア文字表記したとき (ش ى ن) の最後の文字である。このことから、最も高い高御座の上のアッラーに由来する光の神秘的力を、天使を通じてより低い世界にもたらず媒介の文字となっている。なお、ここでは بنون という語の「ヌーンと共に (bi-nūn)」は「子孫達 (banūn)」の意味もかけられている。
- (52) 刊本 ذلك は ذلك の誤りか。
- (53) 「アッラーのみが神である。」と唱えること。
- (54) 「アッラーは偉大なり。」と唱えること。
- (55) この水の軌道は、高御座から溢れ出る玉座の世界にある軌道であり、kubrā の宇宙観では、

高御座の軌道の次に遠い軌道である。遠い水の中で子供がつくられるとする考えは、古バビロニア時代のアッカド語の出産呪術を記した粘土板YBC4603 (YOS11,86) にもあり [van Dijk1974], *kubrā*もこうした古くからの世界観・宇宙観を受け継いでいる。

- (56) アッラーの別名 $khalīq$ (خالق) を構成する各文字の数値を足すと731になる。
- (57) 医学書としては例えば, [‘Arib b. Sa’id, *Kitāb khalq al-janīn* pp.38–39], [‘Ali b. ‘Abbās al-Majūsī, *Kāmil* 1/139] では純正同胞会の書簡 [Ikhwān al-ṣafā’, *Rasā’il* 2/421–426] と同じく1～7か月目の各月をそれぞれ土星, 木星, 火星, 太陽, 金星, 水星, 月が管理し、8・9か月目はそれぞれ土星, 木星が管理する。クーシュヤールの『占星術諸知識における技術入門』でもほぼ同様である [Yano (ed.tr.) 1997 pp.156–159]。
- (58) 引用原文：
و يقول سبحانه الخالق البارئ المصور مدة الخلوة و الرياضة أربعين يوما فانه يكشف لك عن دقائق الامور و أما ذكره فاليسلة اللهم أنت خالق الموجدات الاصلية و مكوناتها

- (59) 引用原文：
اعلم ان الله تعالى اذا أراد أن يكمل التركيب باسمه الخالق يمدد بعوالم فلك اسمه البارئ ثم بالمصور و يتحلى عليه فلك اسمه القدير و يحصل له الافعال فعند ذلك يكون بأول الولادة الروحانية و هي معالم النبوة و هي اول المقامات و لذلك نبه عليه السلام بقوله للتائب من الذنب كمن لا ذنب له و في حديث آخر خرج من ذنوبه كيوم ولدته أمه فهذه أول أطوار الولادات العلويات و أول سقط الجروح فاذا كمل ما نقشوه في صحيفة التدبير الذي أول سطوره ثلثمائة و خمسة و أربعون سطر او تحقيق مراتب الاسم بمعرفة الاطوار التركيبية و التقرب الى الله بهذا الاسم لزوم الانكسار و تعلق الفكر بعوالم الملكوت و مراقبة الاسرار و عليك بالتوغل في دقائق التوحيد فاذا أردت الدخول الى الخلوة فترى أربعين يوما و لازم تلاوة الاسماء الثلاثة و هي خالق بارئ مصور حتى يغلب عليك حال و تخاطبك العوالم و عليك بتلاوة الاسماء كل وقت
- (60) 多くのハディースにおいて妊娠40日又は40夜はアッラーにより定命 (taqdir) がされる期間である。そのためにqadirの名が裝飾される。

(61) 刊本は「fi」の誤りか。

- (62) 引用原文：
انى كنت جالسا بين يدي الشيخ عبد الصمد الاندلسي رضى الله عنه و اذا رجل أقبل على الشيخ و سلم عليه فرد الشيخ عليه السلام باحسن رد \ فقال له الشيخ امض و اتم صيامك أربعين يوما و التنى تقض حاجتك فمضى الرجل و أتم الصيام المدة ثم أتى الى الشيخ فقال له يا سيدى أتممت صيام الاربعين يوما فقال بالشيخ الآن قد استجبت الفضيلة ثم ان الشيخ دخل و خرج معه رقعة ففتحها و تأملها طويلا و قبلها و هز رأسه و دفعها الى ذلك الرجل و اوصاه الشيخ بها فاجاب الرجل بالسمع و الطاعة و قيل يد الشيخ فلما غاب الرجل عنا تقدمت الى الشيخ و قبلت يده و قلت يا سيدى ما هذه الرقعة التى دفعتها الى هذا الرجل فقال الشيخ يا أحمد فيها سر الله تعالى الذى لا يطلع عليه أحد الا أفراد ممن أراد الله تعالى به خيرا فقلت يا سيدى أما تخبرنى بها فلم يرد على جوابا فأخذت في نفسى و قلت دعنى اسأل الشيخ مرة ثانية فأقمت أياما و سألته عنها فلم يخبرنى فلم أزل أردد القول عليه مدة سنة و الشيخ لم يرد على جوابا فلما كان بعد سنة قال لى الشيخ من تلقاه نفسه يا أحمد ما تريد بسؤالك هذا فقلت له يامولاي أريد الاطلاع على هذه الاسماء المباركة و الاشتغال بها فقال الشيخ يا أحمد ان اردت ذلك فصم أربعين يوما لا تأكل فيها ذا روح و لا ما خرج من روح فان فعلت ذلك أخبرتك بما فيها فأجبته بالسمع و الطاعة ثم تجردت الى الصيام فأعاننى الله تعالى على ذلك فلما اتممت صيام الاربعين يوما اتيت الشيخ و قبلت يده و أخبرته بالصيام فقال الشيخ الان قد استوجبت الفضيلة ثم دخل الشيخ الخلوة و غاب طويلا ثم خرج و الرقعة في يده فقبلها ثم قال يا أحمد أتدرى ما فيها فقلت لا ادرى فقال الشيخ اعلم ان هذه الاسماء كانت مكتوبة على عصا موسى و عصا شعيب عليهما السلام و كانت مرقونة في حلة يوسف عليه السلام و كانت على سيف دانيال عليه السلام و كانت مع ابراهيم عليه السلام لما رمى في النار و كانت مع عيسى عليه السلام و علمها للحواريين و كان آخرهم شمعون الحواري و كان يدعو الله تعالى بها فيبيري بها العلل و الامراض و حاملها تهابه السباع و سائر المخلوقات و يحرسه الله من شر الجن و الانس و تتعقد عنه سائر الالسنه و يعتقد عنه احد يد جيتي لو دخل بين كثير في الحروب و قاتل لم يقدر عليه أحد بسوء ابداء و تنهزم بين يديه الجيوش و الاعداء و من كان به الم مثل صداع في رأسه او رمد في عينه او علة من العلل في جسده و كتب هذه الاسماء في رق طير أو في رق طيبي و المقها عليه و كتب الفاتحة و آية الكرسي و سورة الاخلاص و المعوذتين في جام زجاج

سمك مسك و زعفران و ماء ورد و شربيا فان الله تعالى يعافيه من جميع ما يكرهه

- (63) この人物の特定はできなかった。samad (永続者, 自存者) はアッラーの別称の1つ。
- (64) 刊本رجلはرجلの誤りか。
- (65) クルアーン, 部族連合 (33) 章44節参照。
- (66) 刊本استحقتはاستحقتの誤りか。完了形人称語尾のتはtuと読めば1人称, taと読めば2人称なのでシャイフと男の双方の発話とも考えられる。
- (67) 聖書に記載されていないアラブの預言者の1人 [中田監修2014 p.17]。
- (68) クルアーン, 牝牛 (2) 章255節。このくだりについては [kubrā pp.218-235] に詳しい説明がある。
- (69) クルアーン, 112章。
- (70) クルアーン, 夜明け (113) 章と人々 (114) 章 [Canaan ibid. p.131]。
- (71) 引用原文 (p.280) :
 و من داوم على ذكره تعالى علام الغيوب أربعين يوما لا يأكل فيها روحا و لا يقرب نساءه فانه يطلع على أحوال الناس و يرى ما هو غائب عن غيره و من داوم عليه شاهد الغرائب و لم يبق في عصره مثله
- (72) 引用原文 (p.262) :
 تَبْدِي بِالرِّيَاضَةِ يَوْمَ الْاِحْدِ وَ تَصُومُ اَرْبَعِينَ يَوْمًا بِشَرَطِ الرِّيَاضَةِ وَ تَقْرَأُ الْآيَةَ كُلَّ يَوْمٍ اَرْبَعِمِائَةً وَ اَتْنِينَ وَ ثَلَاثِينَ مَرَّةً وَ لَا تَنَامُ مِنَ اللَّيْلِ اِلَّا قَلِيلًا وَ تَكُونُ فِي خَلْوَةٍ صَالِحَةٍ لَا يَسْمَعُ فِيهَا شَيْءٌ مِنَ الْاَصْوَاتِ وَ الْبُخُورِ صَبِيحًا وَ مَسَاءً عُودٌ وَ نَدٌ وَ غَالِيَةٌ وَ حَصَا لِبَانٍ وَ تَكُونُ ثِيَابَكَ بِيضًا طَاهِرَةً وَ تَغْتَسِلُ كُلَّ ثَلَاثَةِ اَيَّامٍ وَ تُطِيبُ بِالْمَسْكِ الْمَمْسُوكِ وَ تَقْرَأُ الْقِسْمَ الْاَتَى ذَكَرَهُ دَبْرُ صَلَاةِ الصُّبْحِ مَرَّةً وَ صَلَاةِ الضُّحَى مَرَّةً وَ قَلِّ الْمَغْرِبِ مَرَّةً فَاذَا تَمَّ عَشْرُونَ يَوْمًا يَأْتِيكَ خَادِمٌ مِنَ الْخِدَامِ وَ يَقُولُ لَكَ يَا ابْنَ اٰدَمَ مَضَى لَكَ عَشْرُونَ يَوْمًا وَ اَنْتَ فِي هَذَا التَّعَبِ فَارْحَ نَفْسَكَ وَ خُذْ مَا يَكْفِيكَ مِنَ الْمَالِ وَ يَبَالِغُ لَكَ فِي الْكَلَامِ فَلَا تَقْبَلْ مِنْهُ شَيْئًا وَ لَازِمٌ عَلَيَّ الذِّكْرُ حَتَّى تَتَمَّ الْاَرْبَعِينَ وَ كُلَّ لَيْلَةٍ تَنْتَظِرُ مَنَامَاتٍ صَالِحَةٍ وَ بَعْدَ الْاَرْبَعِينَ يَمْتَلِئُ عَلَيْكَ الْبَيْتُ نُورًا وَ تَنْتَظِرُ لِلْحَيْطَانِ وَ الْمَكَانِ الَّذِي اَنْتَ فِيهِ مَكْتُوبٌ فِيهِ سَلَامٌ قَوْلًا مِنْ رَبِّ رَحِيمٍ وَ يَدْخُلُ عَلَيْكَ الْمَلِكُ وَ هُوَ رَاكِبٌ وَ حَوْلَهُ مِنَ الْخِدْمِ خَلْقٌ كَثِيرٌ وَ يَقُولُ السَّلَامُ عَلَيْكَ
- (73) 引用原文 (p.473) :
 و الغيب عبارة عما بطن و الشهادة عبارة عما ظهر و لهذا الاسم خلوة و رياضة و تلاوة الاسم دائما و اكل الحلال و تلاوة الاسم دبر كل صلاة عدده و بعد تمام الاربعين ينزل عليه الملك نوريائيل تحت يده اربع قواد ياتي للذاكر يكشف له عن الملك و الملكوت و يرى الروحانية بعينه في النوم و اليقظة
- (74) 一応 [Dozy1881 2/659] のambreとの訳に従うが, [Harawī, *Baḥr* p.285] では, の説明文として「それは沈香と竜涎香と麝香から合成された」原文: مشك و عنبر و اعود و مركب بود از عود و عنبر و مشك, 合成した香の一種かもしれない。
- (75) クルアーン, ヤー・スーン (36) 章58節参照。
- (76) この点 [Gardiner ibid. pp.129-131] は, ブーニーとその作品がイスラーム思想と社会の史料編纂の真剣な考慮から長く除外されてきたこと, 多くの20世紀半ばの学者達が呪術を古代のしつこい岩屑のようなもので, 主に貧しく教育された者達の間で栄え, 文化的衰退の瞬間に繁栄する不合理で反社会的な先祖返りと見なしてきたことを批判する。そして, ブーニーの作品がスーフイズムの輪郭と他のイスラーム思想の活動舞台を作り直すことを補助する可能性を指摘する。
- (77) 但しイスラームの呪術的製作物では書かれたテキストと異なり, 時折天使に言及するほかは神のみの呼び起こしをする傾向があるという [Pormann&Savage-Smith ibid. p.158]。

参考文献

〔参考文献〕

- 'Alī b. 'Abbās al-Majūsī, (ed.) F.Sezgin 1985 *Kāmil al-ṣinā'a al-ṭibbiya : The complete medical art, Frankfurt (2vols. in 3vols.)*
- 'Arīb b. Sa'īd, *Kitāb khalq al-janīn wa tadbīr ḥabālā wa al-mawlūdīn* (ed.tr.) H.Jahier & N.Abdelkader 1956 *Le livre de la génération du fœtus et le traitement des femmes enceintes et des nouveau-nés, Arger*
- El-Būnī, (tr.) S.Alpay 1997 *Şems' ul Ma'ārif ul -kübrā (Büyük Bilgiler Güneşi), İstanbul (4vols. in 2vols.)*
- Canaan, T. 2004 The decipherment of Arabic talismans, in ed. E.Savage-Smith 2004 *Magic and divination in early Islam, Ashgate/Variorum* pp.125-177.
- Cordero,J.C.2009 *El Kitāb Şams al-Ma'ārif al-Kubrā (al-ŷuz' al-awwal) de Aḥmad b. 'Alī al-Būnī : Sufismo y ciencias ocultas, Salamanca [DLE_CoullantCorderoJ_SufismoyCienciasOcultas.pdf] (2019年1月10日確認)*
- Dietrich,A. 2004 al-Būnī *Encyclopaedia of Islam New edition XII, Leiden* pp.156-157.
- Dozy,R.1881 *Supplément aux dictionnaires Arabes, Leyde, (rep. Beyrouth 1991)*
- Gardiner,N.2012 Forbidden knowledge? Notes on the production, transmission, and reception of the major works of Aḥmad al-Būnī, *Journal of Arabic and Islamic studies 12* pp.81-143. (電子ジャーナル)
- Ḥājjī Khalifa (ed.) G.Fluegel 1835-58 *Kashf al-zunūn 'an asāmī al-kutub wa al-funūn, London, (rep. Bayrūt 7vols. in 8vols.)*
- Hamès,C.2011 al-Būnī *The Encyclopaedia of Islam Three 2011-1, Leiden/Köln* pp.140-143.
- Harawī (ed.) Hukeem Abd-ool Mujeed 1830 *Baḥr al-jawāhir = The Buhr-ool Juwāhir: A medical dictionary, Calcutta, (rep. Hildesheim/Zürich/New York 2005)*
- Ibn 'Arabi *al-Futūḥāt al-makkiya, Bayrūt1999 (9vols.)*
- Ikhwān al-ṣafā' *Rasā'il ikhwān al-ṣafā' wa khullān al-wafā', Bayrūt1957 (4vols.)*
- Ittig,A.1982 A talismanic bowl, *Annales islamologiques 18* pp.79-94.
- Lory,P.1987-88 La magie des lettres dans le Şams al-ma'ārif d'al-Būnī, *Bulletin d'études Orientales 39-40* pp.97-111.
- Māwardī, *al-Ḥāwī al-kabīr fi fiqh madhhab al-imām al-Shāfi' wa huwa sharḥ mukhtaṣar al-Muzanī, Bayrūt1999 (20vols.)*
- Pormann,P.E.&E.Savage-Smith 2007 *Medieval Islamic medicine, Edinburgh*
- Ptolemy (ed. tr.) F.E.Robbins 1940 *Tetrabiblos, London*
- Ṭabari,' Alī b. Rabbān al-Sahl (ed.) Şiddiqī 1928 *Firdaws al-ḥikma fi al-ṭibb, Berlin*
- Ullmann,M.1972 *Die Natur- und Geheimwissenschaften im Islam, Leiden/Köln*
- van Dijk,J.J.A.1973 Une incantation accompagnant la naissance de l'homme, *Orientalia Nova Series 12* pp.502-505
- Yano,M.1997 (ed.tr.) *Kūṣyār Ibn Labbān's Introduction to astrology, Tokyo*
- 中田考監修 中田香織・下村佳州紀訳 2014年 『日亜対訳クラーン』作品社
- 中村廣治郎 2002年 『イスラムの宗教思想：ガザリーとその周辺』岩波書店
- R.A.ニコルソン著 中村廣治郎訳 1996年 『イスラムの神秘主義 スーフィズム入門』平凡社
- プラトン著 朴一功訳 2007年 『饗宴/パイドン』京都大学学術出版会